



はっとり友則県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

市民の視点で教育の充実を!!

外部「人材バンク」の活用を提言

高校部活顧問の半数は未経験者

文化都市・八千代市選出で、二期目ながら県政界の理論派のニューリーダーとして期待される服部友則(はっとり・とも)り(県議は、二月県議会の予算委員会一般質疑に登場し、県立高校の運動部活動に関連し、教育現場での指導者の現状などをたどりました。これに対し、佐藤県教育長は、約五千五百人の部活顧問のうち、約半数は競技経験のない指導者で、経験者との複数顧問制をとるよう努めていると答弁しました。予算委員会から服部県議の主な質疑を1、2面で特集します。

講習会で指導者の資質向上

服部委員 高校における運動部活動の指導者の現状はどうか。
 教育長 平成二十年度の千葉県高校体育連盟の調査によると、県下の運動部活動の顧問は、約五千五百人おり、そのうち競技経験があり、技術指導ができる顧問は、半数近くになっています。

それ以外の顧問は、技術指導ができる顧問を含めた複数顧問制を取るよう努めています。
 教育長 学校や生徒の実態に応じて、安全で充実した運動部活動が行われるためには、指導者の確保は重要だと考えています。
 このため、指導経験の浅い教員を対象とした中・高校運動部活動指導者講習会や安全に関する高度な指導技術を要する指導者の資質向上を図るための高校安全講習会を行っています。

東京教育委員会で行っている、部活の顧問に外部人材を活用する「人材バンク」についても、県教委でも研究してもらいたい。

臨時講師の採用に工夫を

服部委員 進学指導重点校における運動部活動の加入率はどのようになっているのか。
 教育長 計画的で継続的な教育活動を進めるうえで、正規教員が大きな役割を果たしていますが、授業を実施するうえで一定数の臨時の任用講師は必要です。
 平成十六年度からの推移をみると、中学・高校とも退職者数が増えています。

どの関係で増加傾向にあり、平成二十年度は中学校では二百九十八人、高校では百八十三人となっています。
 服部委員 熱心に指導に当たり、立派に務めを果たしている臨時の任用講師の中には、何年も教員として採用されない状況もあることから、採用選考で工夫の余地があるのではないかと考えています。

進学指導重点校に必要に応じて、学業だけでなく、部活動の面でも一般の公立高校を引継ぎつつ、よりよい活動に尽力していただくよう努めています。



本会議場で開かれる予算委員会の模様

2月県議会 予算委員会

八千代市特集

このまちが好きだから
 市民の声を
 県政へ届けます

県政や八千代市のご相談、ご意見を聞かせてください

市民の声を
県政へ届けます

はっとり友則 県議事務所

〒276-0034 八千代市八千代台西 2-4-18
TEL. 047-485-1400
FAX. 047-485-1443

定住視野に長期滞在型観光を

知事「千葉県は定住に最適の地」



質疑者として立つ服部友則県議

八千代市特集

服部委員 定住対策について、県は定住促進に向けた観光をどのように考えているのか。

堂本知事 これからの時代は、人間回帰の時代です。生きるということを考えてとき、これからは単に仕事ではなく、もう少し人間としての生き方ということで、美しい景観や豊かな自然、温かい人間性が求められてきています。

千葉県は、まさに日本人の心のふるさととしての条件を満たしており、単なる観光地としてだけではなく、長期滞在やセカンドハウスを持つ二地域居住、定住へと発展させる可能性が大変大きいと思っています。

また、現在、圏央道や成田新高速鉄道などのインフラ整備も進められているので、本県は長期滞在型観光や農業・漁業に親しむ受け皿としても最適の地です。

今回策定した「観光立県」の観点を踏まえ、定住の地となることを目指していきたいと考えています。

2月県議会 予算委員会

「ちば推進基本計画」では、定住を視野に入れた「長期滞在型空間形成プロジェクト」も設け、ゆったりと滞在し、地域の人々とのふれあいを通して、心身ともにリフレッシュできる質の高い観光地を形成していくこととしました。今後は、観光振興により、長期滞在やセカンドハウスを持つ二地域居住、定住を促進し、千葉県が二十一世紀にふさわしい観光の舞台、定住の地となることを目指していきたいと考えています。

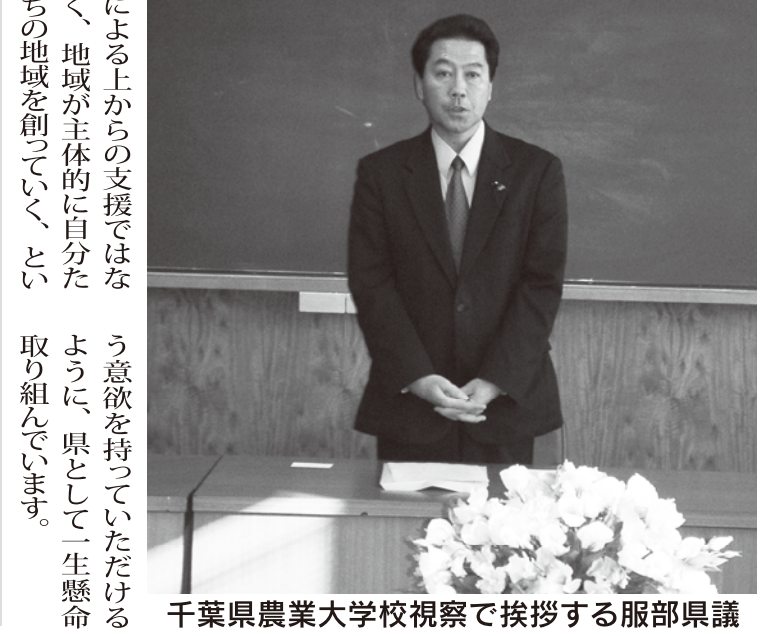
地域が主体の地域づくり

服部委員 定住を促進するための地域づくりについて、県はどのように取り組んでいるのか。

堂本知事 定住のために、ただ自然があるから良いと手をこまねているのではなく、計画性を持って、特に都市計画などが大切でその促進のために、市町村、地域住民、企業等が協働して地域の魅力向上に取り組む、里山や景観などを維持し、自然との共生を目指した二十一世紀型のあか抜けた地域づくりを進めることが重要です。

このため県では、「協働型地域づくり総合推進事業」などによって、地域が主体となった地域づくりを支援してまいりました。県や国

農業大学校七百人が就農



千葉県農業大学校視察で挨拶する服部県議

服部委員 千葉県が全国第二位の農業県として発展してきた中で、千葉県農業大学校はどのような役割を果たしてきたのか。

農林水産部長 千葉県農業大学校は、昭和五十四年の創設以来、これまでに約二千名の卒業生を輩出しました。そのうち約七百名を超える卒業生が就職し、さらに約四百名が県や農業団体等の指導者として活躍しています。

服部委員 学生の確保に向けて、農業大学校ではどう

による上からの支援ではなく、地域が主体的に自分たちの地域を創っていく、という意欲を持っていただけるように、県として一生懸命取り組んでいます。

はっとり友則 **3つのアピール**

あふれる **情熱**

しっかり **政策**

たしかな **未来**

農業に関心の高い高校生に入学してもらうために、一日体験入学や、従前は農業系の高校にアプローチしていましたが、今年度からは普通系の学校にもアプローチしながら、募集しているところです。

信頼と実績で
改革ニューリーダー
はっとり友則の
服部県議

PROFILE / 服部友則県議
農林水産常任委員長で活躍

経歴

- 昭和32年5月 八千代市生れ
- 昭和56年3月 山梨大学教育学部卒
- 昭和58年1月 八千代市議初当選(6回当選)
- 八千代市議会副議長
- 八千代市議会議長
- 平成15年4月 県議会議員初当選
- 平成19年4月 県議会議員再選

現職

- 県議会 農林水産常任委員会委員長
- 千葉県 国土利用計画地方審議会委員
- 自民党県連 総務委員会委員
- 八千代市卓球連盟会長
- 八千代市防災協会副会長
- 服部英数教室経営